

第2章 景観づくりの理念と目標

1 景観づくりの理念

歴史、ものづくり、自然、そして人々が輝く景観を目指して

北九州市には、日本の近代化を支えてきた輝かしい歴史、ものづくりのまちとして、公害を克服し環境都市として培ってきた産業や技術、豊かな自然、そしてまちを大切に思う市民の心があります。

北九州市の景観は、地域固有の風土とそこに暮らす人々の営みが調和することで生み出されてきました。本格的な人口減少社会を迎え、集約型都市構造への転換など社会状況が大きく変化するなか、魅力的で持続可能なまちづくりを推進していくため、景観施策の方向性もそれらを踏まえたものとしていく必要があります。

魅力的な景観は、地域に愛着を育むだけでなく、地域の個性と魅力を高め、市内外から人々を呼び込む地域振興の大切な要素です。ここで暮らせてよかった、訪れてよかったと思えるまちの実現に向けて、北九州市の個性が輝くまちなみを創り、未来に引き継いでいきます。

そのために市民一人ひとりの主体性を育み、市民・事業者・行政の協働による魅力的な景観づくりを目指します。

2 景観づくりの目標

景観づくりの理念を踏まえ、5つの目標を定めます。

目標1 地域特性を活かした風格のある景観づくり

地域のまちなみや土地利用の状況を読み解き、地域の個性が光る風格ある景観づくりを目指します。

目標2 歴史と文化を継承する趣のある景観づくり

継承してきた歴史や文化は、長く人々が慣れ親しんできた魅力的な景観を構成する要素であり、これらの歴史や文化を感じられる趣ある景観づくりを目指します。

目標3 ものづくりの躍動感とまちの活力あふれる景観づくり

北九州市の発展を支えてきた臨海部に広がる工場・港湾施設等の集積による躍動感と、人々が暮らすまちの活力が感じられる景観づくりを目指します。

目標4 身近に水辺と緑を感じる景観づくり

海と山の豊かな自然が市街地に近接している特徴を活かし、大都市でありながら身近に水辺や緑のうるおいを感じることができる景観づくりを目指します。

目標5 暮らす人、訪れる人に魅力ある景観づくり

そこで暮らす人の居心地の良い景観づくりと、観光都市として人が集まり訪れたいくなる景観づくりを目指します。